

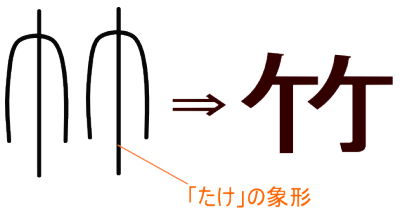
『漢字の書』 第一回課題(四月二十日、二十一日)

漢字は、中国で生まれた文字です。殷王朝紀元前二世紀～紀元前二世紀ごろは、神権政治を行っており、政治に関することから日常のさまざまなことを占いによって決めていました。亀の甲羅や獣の骨を火にあぶり、ひび割れ具合から吉凶をうらない、その結果を甲羅や骨にきざみました。この甲骨文が漢字の原型です。約三千年前に生まれた漢字は、使いやすいうちに早く書けるように形が変わり、現在みんなが使っている楷書体は約二千年前に成立しています。

今回の課題は、名前を使って、漢字のなりたちを調べることです。

平仮名やカタカナの名前の人は、漢字の音をあてて、姓名ともに漢字をあててください。

例 『竹』



象形文字。たけがならびはえているさまにかたどり、『たけ』の意をあらわす。

*二枚目が提出用紙の形式です。

用紙は、A4で同じ形式であれば、他の用紙に書いてもかまいません。

名前				
なりたち				